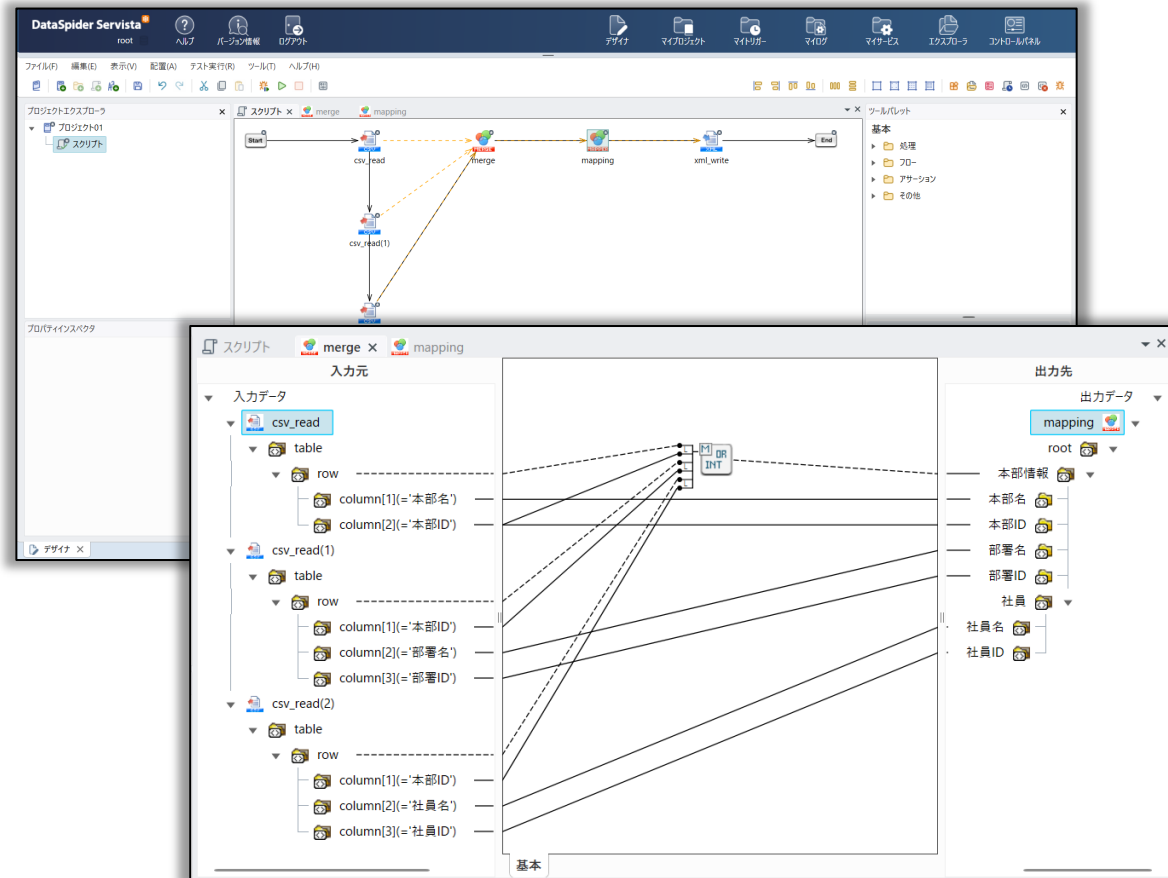




DataSpider Servista 製品紹介資料

株式会社セゾンテクノロジー

「つくる」から「つなぐ」へ



ノンプログラミングで連携処理が開発できる

- GUIを用いたノンプログラミングな開発環境
- データ変換、クレンジングもアイコンベースで開発可能

開発から運用までカバー

- トリガー機能により連携処理の自動化が可能
- ログ管理など運用支援機能も提供

豊富な連携先

- 50種以上の連携先に対応
- 拡張用キットSDKも提供

DataSpider Servistaが提供する価値

画面上のアイコン操作だけで、 誰でもかんたんにデータをつなぐ

DataSpider Servistaは、バラバラなシステムやサービスをノーコードでつないで、日々の業務の改善やデータにもとづく意思決定を実現するための、データ連携ミドルウェアです。



ETLとしての価値

データ統合

様々なデータの統合と管理

データ品質

データ加工などのデータクレンジング

高い生産性

開発を支援する機能群や豊富なアダプタ

パッケージ製品としての価値

コスト最適化

個社個別でのコスト管理

セキュリティ

機密データや個人情報
は自社環境管理

カスタマイズ性

独自要件に応じた業務システム構築

● DataSpider Servistaが選ばれる理由

導入実績

販売本数

6,613本

2025年8月時点

Fortune Global 500

111社採用

※日本企業38社すべてに導入

2025年8月時点

テクニカルサポートサービス ※ 2025年8月時点

一次問い合わせ解決率

98.6%

当日中解決率

72.2%

翌営業日解決率

55.3%

DataSpider Servistaのこだわり

ポイント

1 直感的な操作性

直感的で分かりやすいGUI。
ドロップ&ドロップによる直感的な操作でデータ処理を開発可能。

2 豊富な接続先

使い勝手の良い豊富な種類のアダプタ用意。
クラウドからビッグデータまで様々なシステムへ対応可能。

3 柔軟な実行契機

スケジュール実行、ファイル更新、HTTPリクエスト受信、DBの変更検知など、バッチ処理からリアルタイム連携まで、運用に合わせた“動かし方”を柔軟に設計できます。

4 大容量データも高速に処理

ビックデータ時代の大容量データを高速に処理できるアーキテクチャと機能群を提供。最小限のメモリ量で大容量データを高速に連携。

5 開発とテストのしやすさ

大規模開発を支え開発生産性向上を実現する「開発支援フレームワーク」を装備。活用することで運用コストを削減できます。

6 ドキュメンテーション

開発したスクリプトが期待通りに動作するかを確認するためのテスト工程を支援する機能が用意されています。

7 高いサポート品質

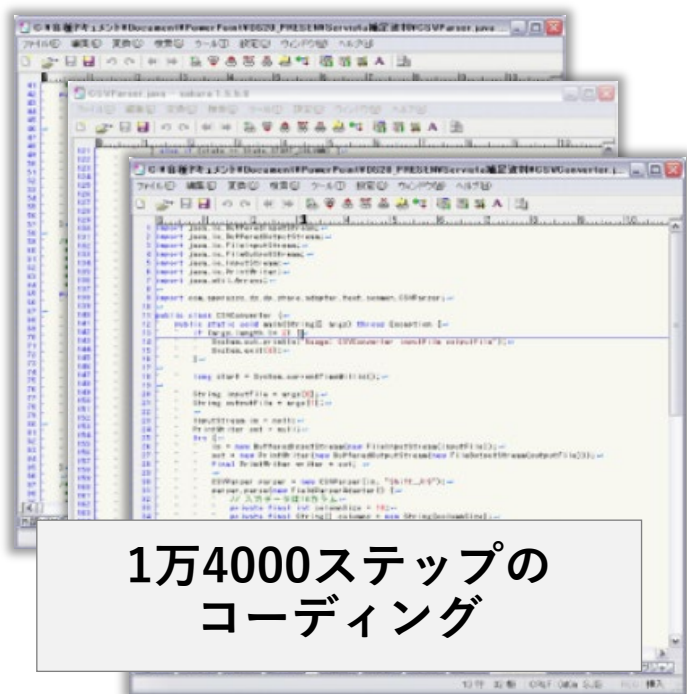
24時間365日の手厚く、高品質のサポートを提供。

1. 直感的な操作（プログラミングスキルが不要）

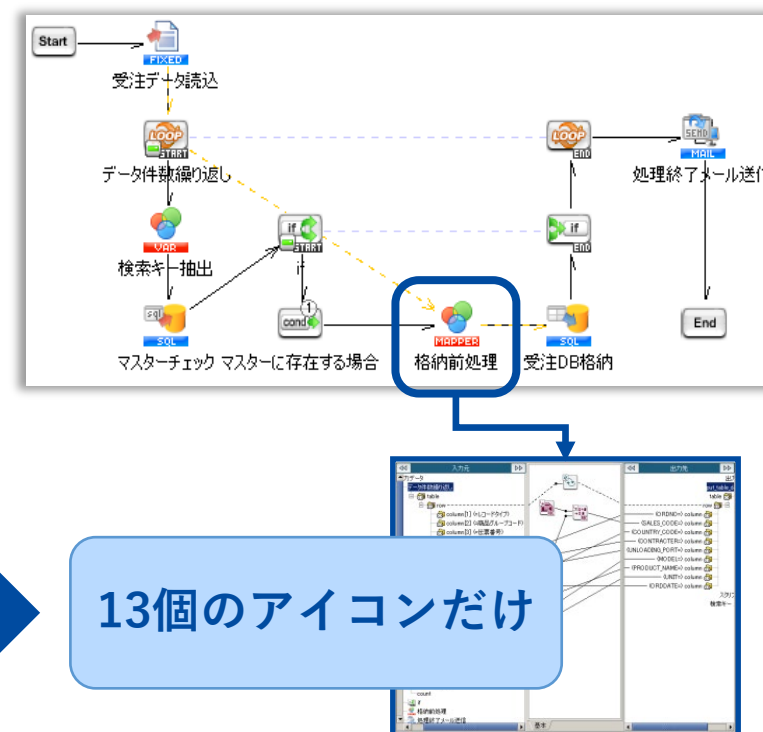
ドラッグ&ドロップによる直感的な操作／ノンプログラミング

専門知識がなくても直感的な操作で作成できるから、属人化しにくく、誰でも短時間で業務フローを実現できます。

Javaで開発



DataSpiderで開発



1. 直感的な操作（設定のしやすいインターフェイス）

すべてのプロパティが日本語／分かりやすい、見やすい

The screenshot displays the DataSpider Servista software interface. At the top, there is a menu bar with options like 'ヘルプ', 'バージョン情報', 'ログアウト', 'デザイン', 'マイプロジェクト', 'マイトリガー', 'マイログ', 'マイサービス', 'エキスプローラ', and 'コントロールパネル'. Below the menu is a toolbar with various icons. The main workspace shows a workflow diagram with nodes: Start, csv_read, merge, mapping, xml_write, and End. A callout box on the left says 'ラベルがすべて日本語で分かりやすい' (Labels are all easy to understand in Japanese). A configuration window for 'XMLファイル書き込み処理のプロパティ' (XML file write processing properties) is open, showing fields for '名前' (kml_write), '入力データ' (mapping), and 'ファイル' (/data/output.xml). A detailed mapping window is also visible, showing '入力元' (Input Source) with columns like 'column[1](=本部名)', 'column[2](=本部ID)', 'column[1](=本部ID)', 'column[2](=部署名)', and 'column[3](=部署ID)', and '出力先' (Output Destination) with fields like '本部情報', '本部名', '本部ID', '部署名', '部署ID', '社員', '社員名', and '社員ID'. A callout box on the right says 'つながっている箇所がひと目で分かるマッピング' (Mapping where connected points are visible at a glance).

2. 豊富な接続先

クラウドからビッグデータまで様々なシステムへ対応

クラウド

- Amazon Web Services
- Microsoft Azure
- Google Cloud Platform
- Salesforce
- kintone
- Box
- Google Workspace
- Snowflake

アプリケーション

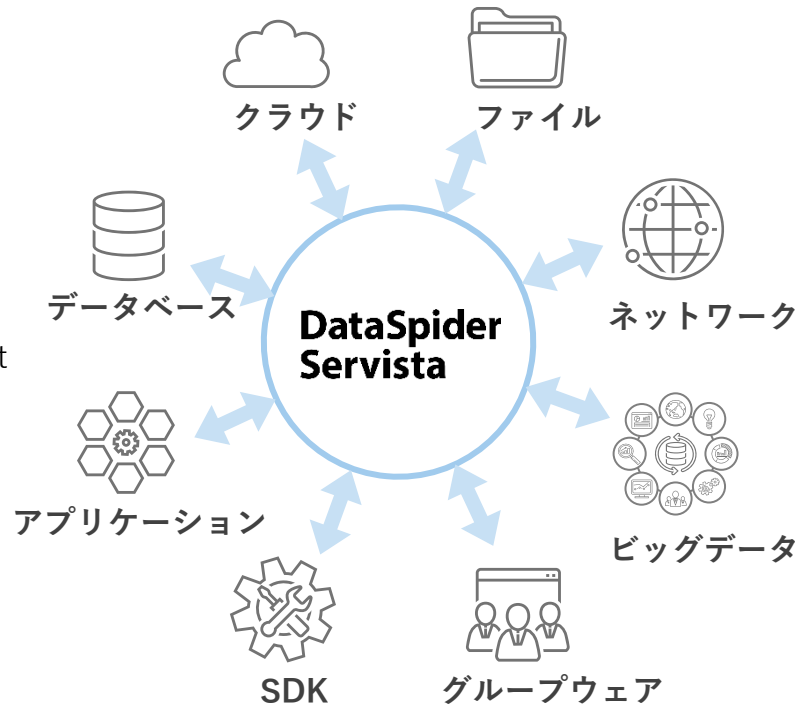
- Tableau
- List Creator
- HULFT
- Dr.Sum
- SVF
- SAP
 - SAP ERP 6.0
 - SAP S/4HANA On-Premise
 - SAP S/4HANA Cloud Private Edition
 - SAP S/4HANA Cloud Public Edition
- Microsoft Dynamics 365 for Customer Engagement
- 勘定奉行V ERP ※2
- 商蔵奉行V ERP ※2
- Universal Connect/X

グループウェア

- HCL Domino
- HCL Notes

SDK

- 追加アダプタ開発



データベース

- Oracle Database
- PostgreSQL
- MySQL
- Microsoft SQL Server
- Microsoft Access
- IBM Db2
- IBM Db2 for i
- JDBC
- ODBC
- Amazon Aurora
- Amazon RDS
- Amazon Redshift
- Amazon DynamoDB
- Azure SQL Database
- Azure Cosmos DB
- Google BigQuery
- Snowflake

ネットワーク

- FTP
- JMS
- REST
- Web
- Webサービス
- メール
- Active Directory

ビッグデータ

- Apache™ Hadoop® (Hadoop HDFS)

ファイル

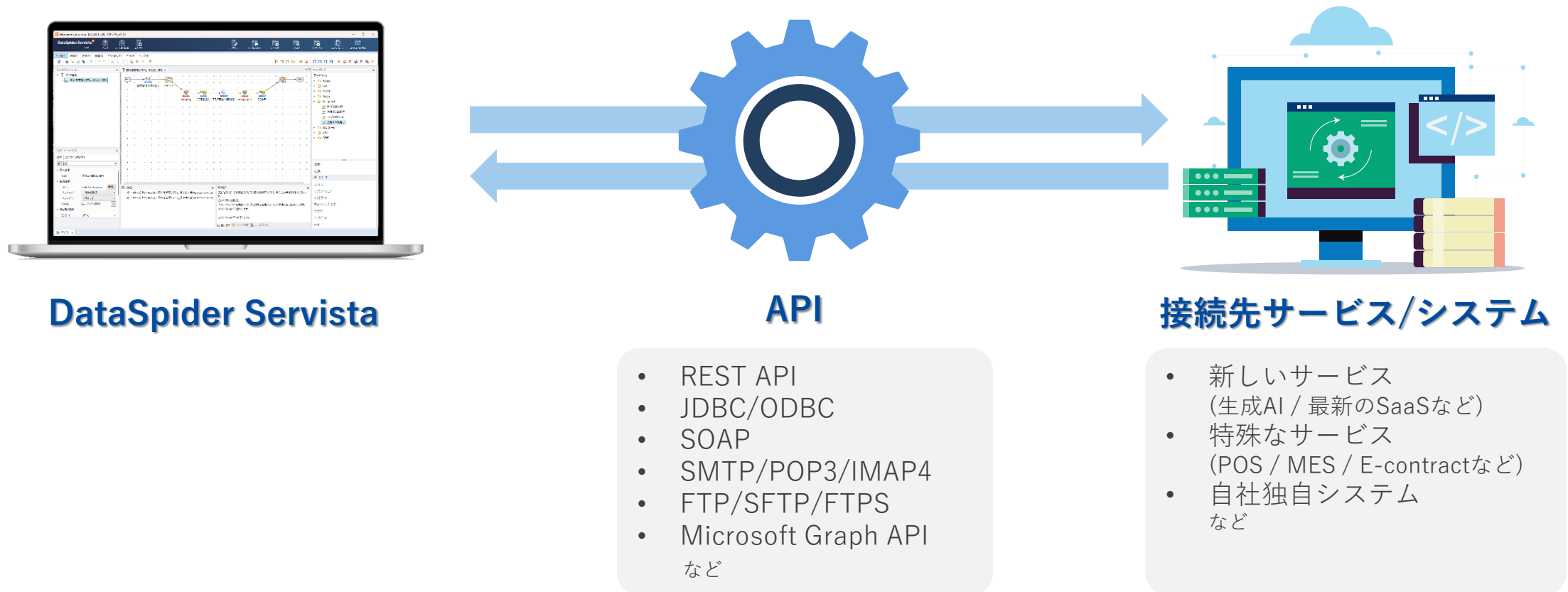
- CSV
- Microsoft Excel
- PDF (画像変換)
- HTML
- XML
- 固定長
- 可変長
- ファイル操作
- ファイルシステム

※ 各アダプタの接続先や詳細機能については、各アダプタ紹介資料をご参照ください。

2. 豊富な接続先

APIでつなぐ

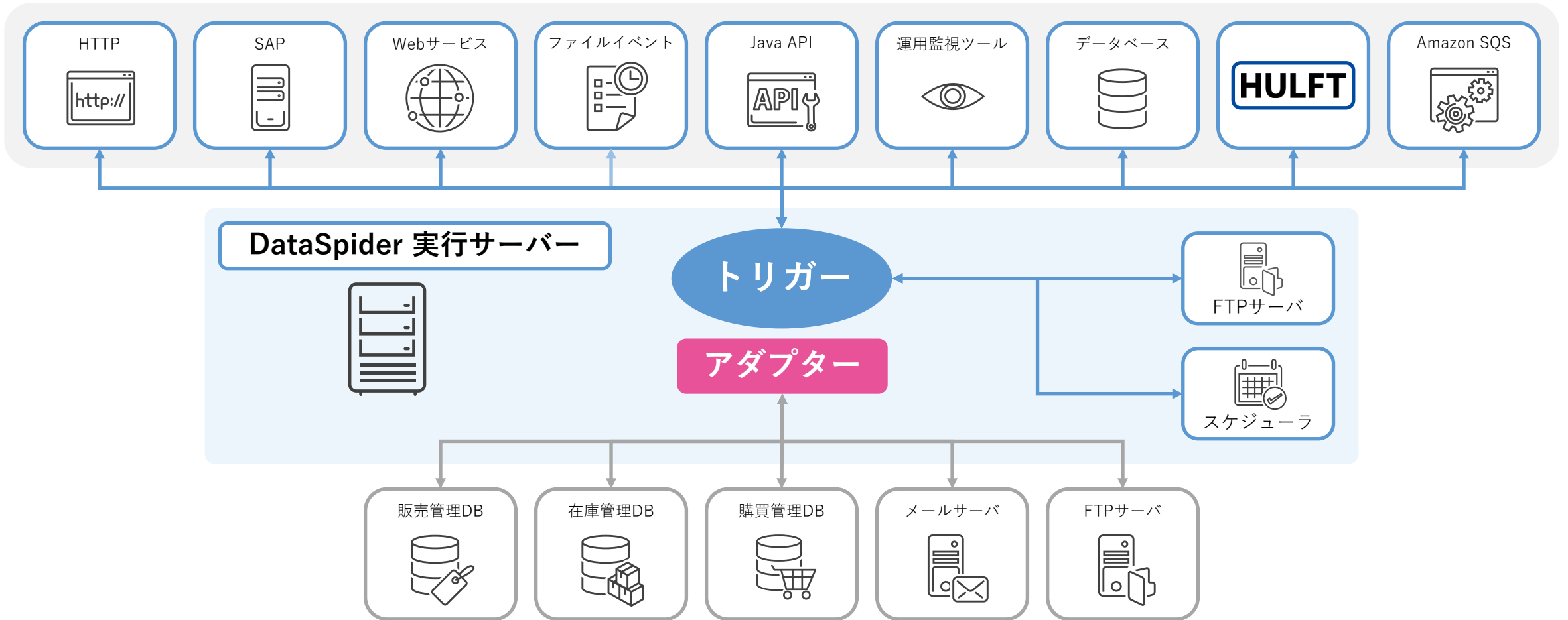
新しいサービスや業種特化型の特殊なサービスなど、専用アダプタがない接続先へも、接続先サービスからAPIが提供されていれば、DataSpiderから接続できる可能性があります。



3. 柔軟な実行契機

様々なタイミングで連携処理を自動実行

豊富に用意されたトリガーや実行クライアントを用いて、DataSpiderの処理実行が可能です。

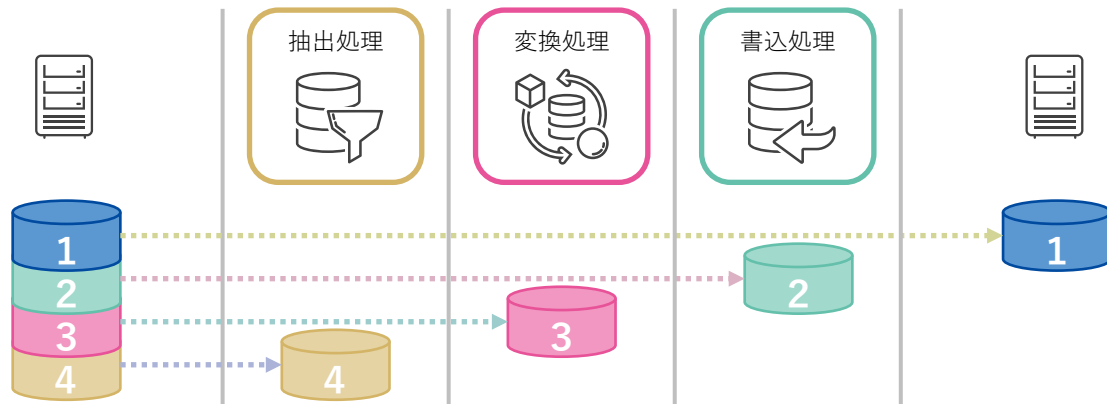


4. 大容量データも高速に処理

最小限のメモリ量で大容量データを高速に連携

パラレルストリーミング処理

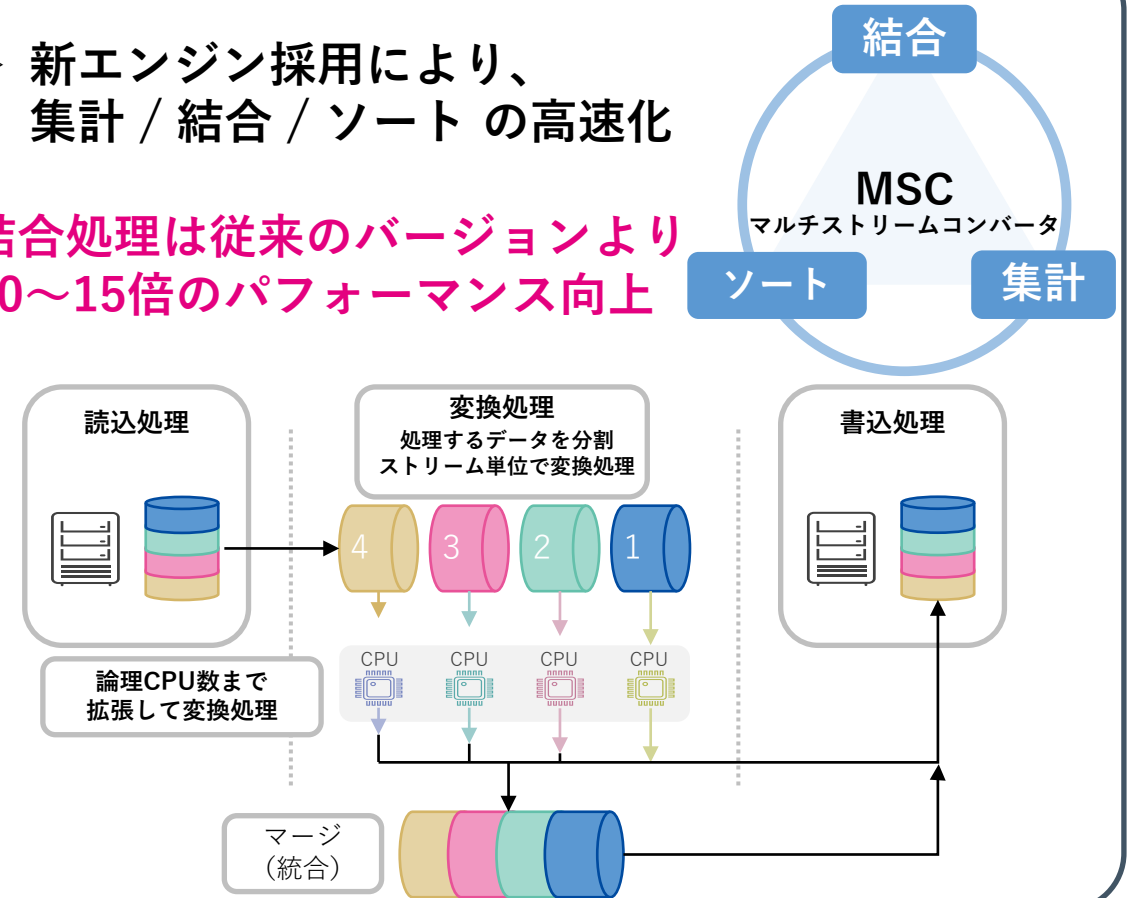
- 一定の分割単位で各処理を並列に処理させることで全体の処理速度が向上
- メモリ消費を抑えながら大容量データを高速処理



マルチストリームコンバータ

- 新エンジン採用により、
集計 / 結合 / ソート の高速化

結合処理は従来のバージョンより
10~15倍のパフォーマンス向上

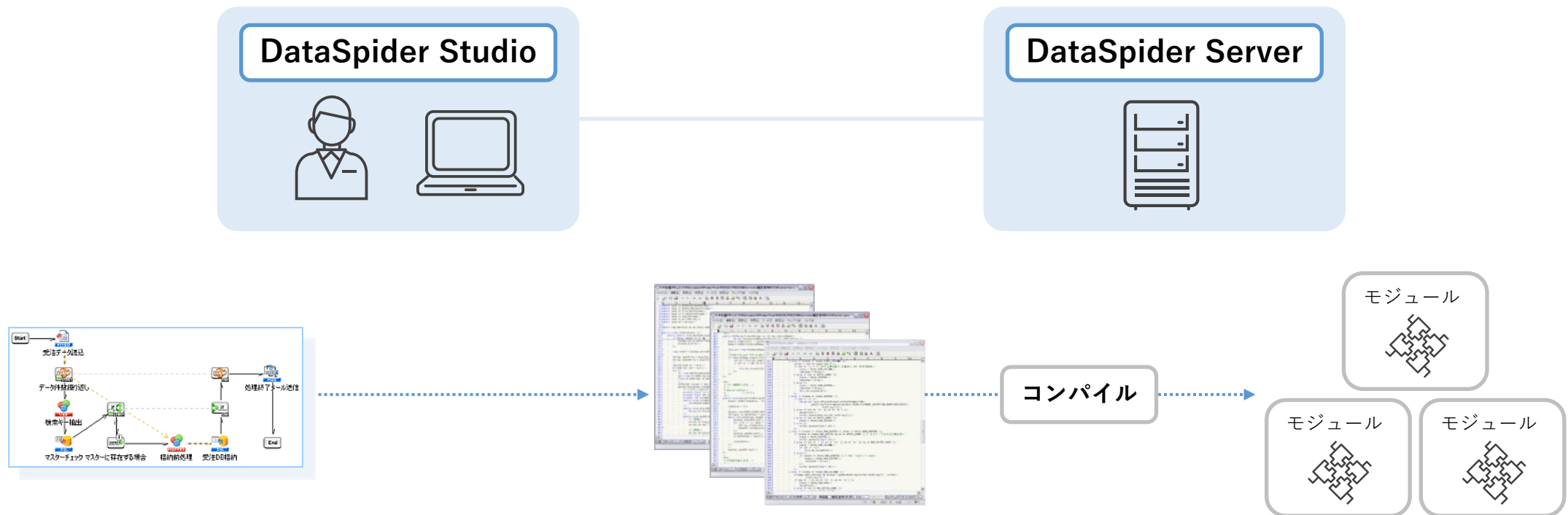


4. 大容量データも高速に処理

コンパイル方式でJavaプログラムと変わらないパフォーマンスを実現

- 高速なデータ連携実行環境

GUIで開発を行った処理フローはDataSpider内部でJavaプログラムに変換した後、実行。プログラムによる開発・実装と遜色ない**高速な処理パフォーマンス**を実現しています。



5. 開発とテストのしやすさ

高い開発生産性を実現するための機能群「開発支援フレームワーク」

「開発支援フレームワーク」を活用することで、正確な見積りによる工期の早期把握、開発工数の削減、不具合発生率の低下、メンテナンス効率の向上といったコスト削減に直接つながる高い効果を得られます。

■ 開発支援フレームワーク

※一部機能を抜粋しています。

設計支援

プロジェクト仕様書の作成

スクリプトの統計情報

<開発前> まずプロトタイプを作成し工数算出
<開発後> 統計情報の分析で次回開発の見積もり

製造支援 ※

環境別の共通利用

開発の共通化

下記開発時の共通利用機能

- バージョン比較レポート
- グローバルスキーマ
- グローバルユーザ定義
- 逆引きリファレンス
- チーム開発機能

テスト支援

テストिंग フレームワーク

スクリプト単体をフレームワークに沿って利用する

運用支援 ※

CLIコマンドによる自動化

DataSpider Servista のシステム運用を効率化するCLI Console のコマンドと、CLI Console のコマンドを組み合わせた自動化ユースケースをご紹介する「CLI Console による自動化ガイド」をご用意しています。

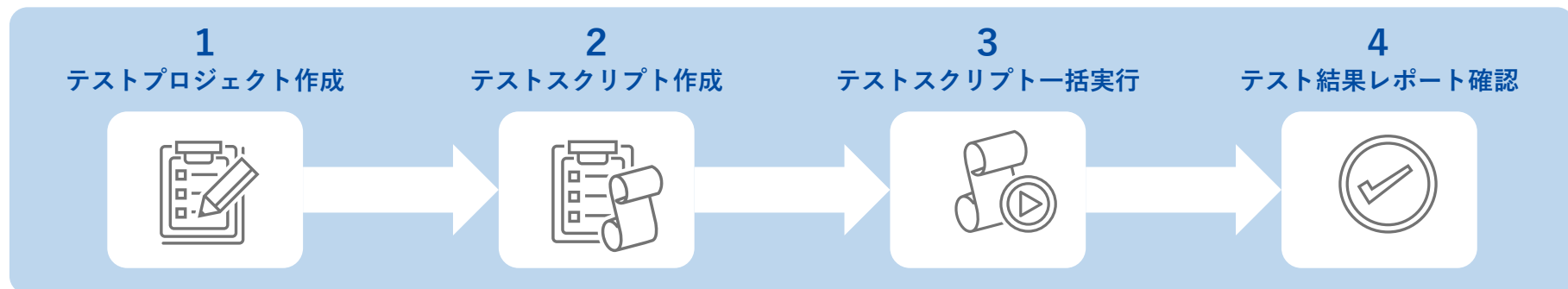


DataSpider Servista 開発支援フレームワークのご紹介
(DSS Development Support_ja.pdf)

5. 開発とテストのしやすさ

テスト工程を支援する機能群「テストングフレームワーク」

自動化テストを作成することで、プロダクションスクリプトへの予期せぬ影響を回避し、手動テストのように工数を気にすることなく、単体テスト・回帰テストを何度でも実行できます。実行結果はレポートとして自動生成され、テストのエビデンス作成まで含めて工数を削減します。



6. ドキュメンテーション

「実現したい処理」から探せる機能ガイドを製品に内包

シナリオ一覧

逆引きリファレンスで用意しているシナリオは以下の通りです。

シナリオ名	サンプルプロジェクトファイル名
null値のレコードになったら抽出処理を終了したい	rl_reference_001.zip
メールに添付されたファイルの拡張子にしたがって保存するディレクトリを振り分けたい	rl_reference_002.zip
メールの宛先・件名・本文などにスクリプト変数を使用して送信したい	rl_reference_003.zip
ファイル名を動的に切り替えて出力したい	rl_reference_004.zip
SQLでJOIN文を設定したい	rl_reference_005.zip
データの行と列を入れ替えたい	rl_reference_006.zip
外部アプリケーションをスクリプトから起動したい	rl_reference_007.zip
同時実行したスクリプトの実行制御がしたい	rl_reference_008.zip
ロックファイルを作成したい	rl_reference_009.zip
ロックファイルを削除したい	rl_reference_010.zip
全銀座フォーマットのような固定長データを出力したい	rl_reference_011.zip
1種類のレコードフォーマットで構成された固定長データを読み取りたい	rl_reference_012.zip
2種類のレコードフォーマットで構成された固定長データを読み取りたい	rl_reference_013.zip
3種類のレコードフォーマットで構成された固定長データを読み取りたい	rl_reference_014.zip
3種類のレコードフォーマットが階層構造で構成された固定長データを読み取りたい	rl_reference_015.zip
4種類のレコードフォーマットが階層構造で構成された固定長データを読み取りたい	rl_reference_016.zip
条件にマッチする間だけ処理を繰り返したい	rl_reference_017.zip
1件前の値と現在の値を比較したい	rl_reference_018.zip
ディレクトリに存在するファイル名を判定し、拡張子ごとに処理を振り分けたい	rl_reference_019.zip
処理を監視し、エラーが発生した場合に例外を通知したい	rl_reference_020.zip
子スクリプトの例外を検知した場合に戻り値を変更したい	rl_reference_021.zip
データベースでマスタチェックし、マッチしたデータを出力したい	rl_reference_022.zip
CSVファイルでマスタチェックし、マッチしたデータを出力したい	rl_reference_023.zip

「～したい」が探しやすい

- ✓ シナリオ一覧の各タイトルから探す
- ✓ 全文検索機能から探す

100を超えるシナリオ

経験者

手順に従いスクリプトを作成することが可能

初心者

プロジェクトファイルを
アップロードして使用することが可能

6. ドキュメンテーション

ボタンひとつで作った処理を仕様書に出力可能

- HTML形式の仕様書出力が可能

開発の成果物、メンテナンス時の設定確認、引き継ぎ資料として使用可能です。
また、処理の二つのバージョンを比較し、差分を確認することのできるレポートも出力可能です。

仕様書

The screenshot shows a web-based specification document titled 'スクリプト仕様書' (Script Specification). It is organized into sections: '1. 概要' (Overview) and '2. 詳細' (Details). Under '2. 詳細', there is a section for 'Excel2DB' which includes:

- バージョン: 8
- 更新日時: 2014年12月19日 14時49分16秒
- スクリプト変数: A table with columns for No., 変数名 (Variable Name), 型 (Type), 入力 (Input), 出力 (Output), 初期値 (Initial Value), and コメント (Comment).
- トランザクション属性: SUPPORTS
- 大容量データ処理: 大容量処理を行わない
- スクリプトの画面: A flowchart showing 'Start' -> 'Excel読み取り' -> 'mapping' -> 'Access書き込み' -> 'End'.
- コンポーネント一覧: A table listing components with columns for No., 名前 (Name), 種別 (Type), 入力データ (Input Data), and 関連メモ (Related Memo).

No.	名前	種別	入力データ	関連メモ
1		start	なし	なし
2	Excel読み取り	シートから読み取り	なし	なし
3	mapping	マッピング	Excel読み取り	なし

バージョン比較レポート

The screenshot shows a 'スクリプトのバージョン比較レポート' (Script Version Comparison Report). It compares two versions of the script, 'バージョン7' (Version 7) and 'バージョン8' (Version 8).

- Under 'バージョン7', the flowchart shows 'Start' -> 'csv_read' -> 'foreach' -> 'mapping' -> 'csv_write' -> 'move' -> 'End'.
- Under 'バージョン8', the flowchart shows 'Start' -> 'csv_read' -> 'foreach' -> 'mapping' -> 'csv_write' -> 'log' -> 'End'.
- A table below lists components with columns for No., 名前 (Name), 種別 (Type), and 状態 (Status):

No.	名前	種別	状態
1		繰り返し(データ行数)終了	更新
2	log	ログ出力	追加
3	end		更新
4	move	移動	削除
- The '1. 詳細' (Details) section shows a table for '1. 繰り返し(データ行数)終了' (1. Loop (Data Row Count) Completed) with columns for 項目名 (Item Name), バージョン7 (Version 7), and バージョン8 (Version 8). The 'バージョン8' column is highlighted in green, indicating an addition.

項目名	バージョン7	バージョン8
項目名	バージョン7	バージョン8
プロセスフロー情報		
From	csv_write	csv_write
To	move	log
位置情報		
X軸	B12	B12
Y軸	B2	B2
- A callout box explains the color coding:
 - 追加はグリーンで表示 (Addition is displayed in green)
 - 更新はオレンジで表示 (Update is displayed in orange)
 - 削除はグレーで表示 (Deletion is displayed in gray)

7. 高いサポート品質



➤ サポートセンタに熟練の専任担当者をアサイン



➤ 24時間365日のサポート対応（電話・メール・Webでの問い合わせ受付）



➤ グローバルサポートに対応（英語での問い合わせ受付）

◆HULFT Technical Support Site <https://www.hulft.com/tech-support>

テクニカルサポートサービス ※ 2025年8月 HULFT製品

一次問い合わせ解決率

96.4%

障害発生率

0.14%

(障害件数 / 出荷本数 HULFT8製品)

当日中解決率

70.3%

翌営業日解決率

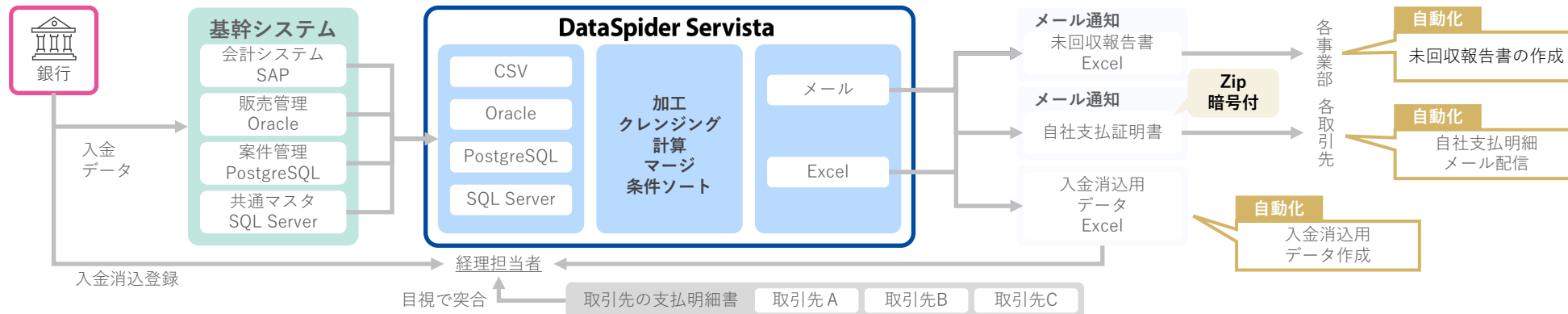
82.6%

経理業務自動化で働き方改革を推進・入金消込および経理関連報告書発行業務を効率化

目的

膨大な工数が掛かっている入金消込業務を効率化したい。

利用シーン	連携先	業種・業態
現場作業の自動化 (働き方改革)	基幹システム Excel メール通知	情報・通信 サービス



課題	導入ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> イレギュラーな取引案件の場合、システムによる処理が出来ず、手動による抽出、照合、消込をする必要がある。その作業は入金消込だけで年間360時間以上の作業負荷となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> スクラッチによる作りこみが不要のため、短納期で要件を満たすことが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 各システムに点在していた入金消込元のデータから、入金消込用データを作成し作業時間を年間300時間以上削減。 計画時に予定になかった、未回収報告書作成、自社支払明細書メール配信の自動化を実現。

ここが良かった！ <お客様の声>



豊富な接続アダプタを利用することにより、異なるシステム環境に接続するためのインターフェースを作りこむ必要がないため、事業ニーズに合わせた変化とスピードに対応することが出来ました。

数値で見る効果 <定量評価>

入金消込の作業時間を、年間 **300時間** 以上削減！

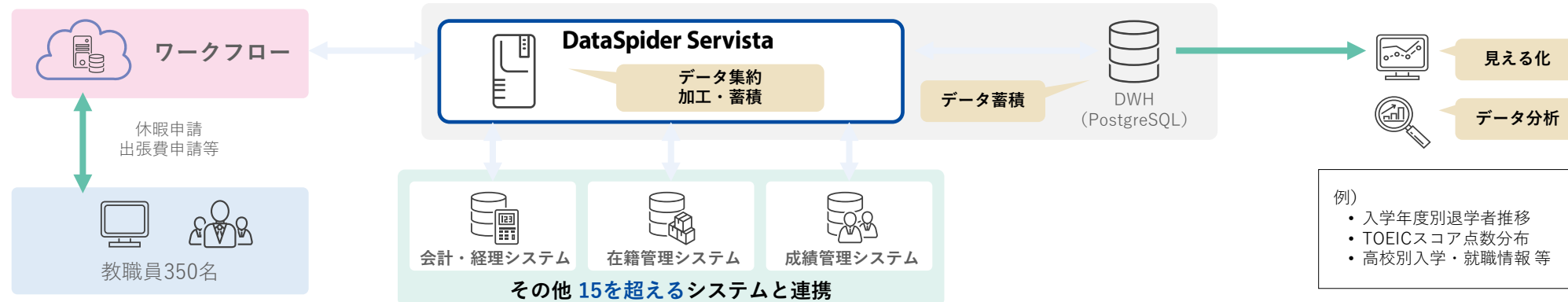
データ分析基盤 構築

孤立化した15を超えるシステムを連携し戦略的な情報活用を加速させる基盤を構築

目的

IR (※) に必要なデータ抽出のため、孤立化したシステムをつなぐデータ連携基盤を構築したい。
 (※) IR (Institutional Research) とは、大学の諸活動に関して情報を収集・蓄積し、分析を行うことで意思決定につなげる活動です。

利用シーン	連携先	業種・業態
オンプレ/ クラウド連携	DWH (PostgreSQL) 各種システム	その他



課題	導入ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> 各部署のシステムが学内ネットワークから孤立しており、データ分析をする際は、各部署にデータ抽出の依頼をする必要があった。そのため、分析までに時間がかかっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊富なDBアダプタを用いて柔軟にデータ連携が出来るため、多種多様なDBが利用されている現環境にも対応可能。 GUI操作で分かりやすく、システム連携の活用イメージが想像できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的なデータ収集が可能になり、業務時間を約70%削減。 必要に応じて就職情報等のレポート出力が可能となり、高校や企業への訪問の際には、過去実績の情報を活用可能。

ここが良かった！ <お客様の声>



これまで活用できていなかった情報の可視化に成功。
 各現場からデータ活用のニーズが増えるなど、情報に対する意識も変化。
 資料作成の負担も軽減され、全体的な効率化に貢献できています。

数値で見る効果 <定量評価>

業務時間を約 **70%** 短縮！

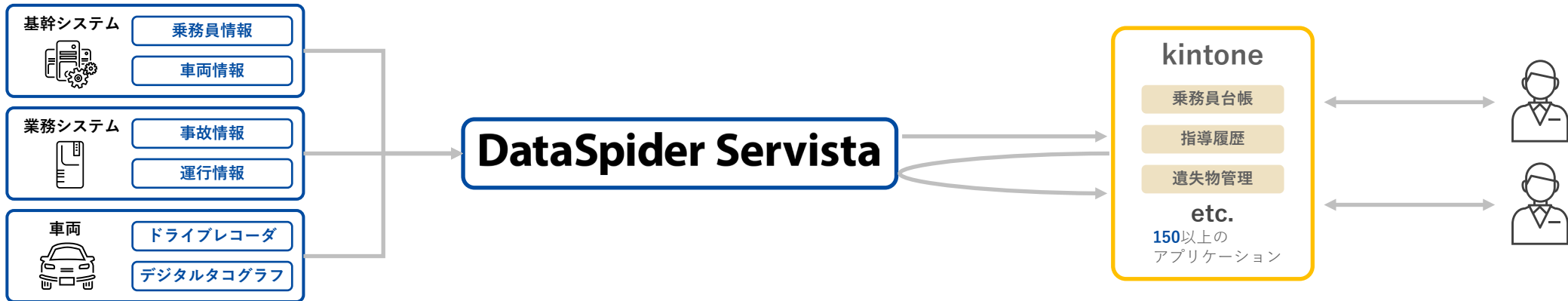
業務アプリのバックエンド連携

レガシー化した基幹系システムをモダナイズし、ビジネスニーズに迅速に対応できる基盤を構築

目的

基幹系システムの更新を機に、kintoneを活用したフロントシステムを構築。フロントエンドとデータ連携基盤を内製化し、ビジネスニーズに迅速に対応できるIT基盤を構築する。

利用シーン	連携先	業種・業態
オンプレ/ クラウド連携	基幹システム 各種システム kintone	運輸・倉庫



課題	導入ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> 30年以上前に開発された基幹系システムが、設計者の退職などにより、ニーズに合わせた改良が難しくなった。 現場では、Excelを中心とした個別のシステムが開発され、手作業による運用が負担となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場で作成された個別システムをkintoneに移行するため、APIによるデータ連携に対応可能であること。 最新データを高頻度でkintoneに連携するため、手作業で行われていた連携前処理の自動化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに合わせて開発された150を超えるkintone上の業務システムと基幹系システムを連携。 手作業による運用を自動化し管理負荷を数十分の1に削減。

ここが良かった！ <お客様の声>



インターフェース開発をベンダーに依頼すると開発費が数千万円になることも見込まれます。DataSpider Servista なら、ひとつでそれを巻き取れるので、非常に良い買い物でした。

数値で見る効果 <定量評価>

数千万円の開発費削減に成功！

DataSpider Servista 製品ラインナップ

DataSpider® Servista パッケージライセンス

データ連携に必要な機能がそろったパッケージ。

DataSpider Servista Advanced Server Package

基本構成
610万円より

DataSpiderサーバ 1ライセンス、開発用クライアント (Studio) 5ライセンス
24種類の標準アダプタライセンス、各種トリガー機能付き

DataSpider Servista Basic Server Package

基本構成
360万円より

DataSpiderサーバ 1ライセンス、開発用クライアント (Studio) 5ライセンス
12種類の標準アダプタライセンス (一部のデータベースアダプタは選択式)
各種トリガー機能付き

DataSpider® Servista 月額ライセンス&サポート

データ連携ソフトを最短1ヶ月で利用可能
期間限定ライセンスでフレキシブルに運用可能。システム移行等にご利用ください

DataSpider Servista 月額ライセンス & サポート

期間利用初回1ヶ月
20万円より

初回1ヶ月から期間利用でき、1ヶ月単位の延長が可能です。
DataSpider Servista Basic Server Package (以下DSBP) または DataSpider Servista Advanced Server Packageと同じ構成で、開発用クライアント5つを含みます。月額ライセンス&サポート用オプションアダプタは、ご購入いただいた製品に応じてオプションのアダプタが利用可能です。
(※ 一部、月額ライセンス&サポート利用対象外のアダプタがあります)

資料をご覧いただきありがとうございます。
お見積り・ご相談は[こちら](#)から

